

ロダンからはじまる 彫刻の近代

特集展示:ズビネック・セカール

Modern Sculptures: Beginning with Rodin
Featuring Zbyněk Sekal



1. オーギュスト・ロダン《花子のマスク》1908年(casting 1974年)
ブロンズ 神奈川県立近代美術館蔵



2. ズビネック・セカール《仮面をつけた仮面》1990年 ブロンズ
ギャラリーTOM蔵 撮影:有福一昭

2013年12月14日 [土] — 2014年3月23日 [日]

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1 tel.0467-22-7718

休館日: 月曜日(ただし12月23日、1月13日は開館)、12月29日[日]—1月3日[金]

開館時間: 午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料: 一般250(150)円、20歳未満・学生150(100)円、65歳以上と高校生100円

※()内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

その他の割引につきましてはお問い合わせください。

※ファミリー・コミュニケーションの日: 毎月第一日曜日(今回は2014年1月5日、2月2日、3月2日)は、
18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催: 神奈川県立近代美術館

ロダンからはじまる 彫刻の近代

Modern Sculptures: Beginning with Rodin



3.

近代彫刻の父と呼ばれるフランスの彫刻家オーギュスト・ロダン(1840-1917)による《花子のマスク》とその弟子エミール・アントワーヌ・ブールデル(1861-1929)の《帽子を被った自刻像》、彼らから影響を受けた高村光太郎(1883-1956)、戸張孤雁(1882-1927)、中原悌二郎(1888-1921)らのほか、海外の20世紀彫刻からは、ジャン・アルプ(1886-1966)、アルベルト・ジャコメッティ(1901-1966)など、当館の所蔵作品から選りすぐりの彫刻作品と彫刻家による素描や版画、約40点を紹介します。併せて、チェコスロヴァキア出身の彫刻家ズビネック・セカール(1923-1998)の作品約20点による特集展示をいたします。



4.



5.



6.

■ 画像キャプション

3. 中原悌二郎《若きカフカス人》1919年 ブロンズ 神奈川県立近代美術館蔵
4. 堀進二《壺を抱く女》1925年 石膏 神奈川県立近代美術館蔵
5. アルベルト・ジャコメッティ《裸婦小立像》1946年頃 石膏
神奈川県立近代美術館蔵／宇佐見英治旧蔵
© Alberto Giacometti Estate / JASPAR in Japan 2013
D0359
6. セザール《アニマル》1956年 ブロンズ
神奈川県立近代美術館蔵／麻生三郎コレクション
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2013
D0359
7. ズビネック・セカール《無題》1966年 鉄、木 ギャラリーTOM蔵 撮影：有福一昭

■ 学芸員によるギャラリートーク

2014年2月15日[土]、3月15日[土]
各日午後2時より
申込不要、無料
(ただし、「ロダンから始まる 彫刻の近代」
の観覧券が必要です)

Featuring Zbyněk Sekal

特集展示：ズビネック・セカール

ズビネック・セカール略歴

- 1923年 チェコスロヴァキア共和国(現チェコ共和国)プラハに生まれる。
- 1934-41年 ギムナジウムと技術専門学校で学ぶ。
- 1941年 ゲシュタポに逮捕され、マウトハウゼンの強制収容所に収監される。
- 1945年 解放される。
- 1950年 プラハの工芸美術学院を退学し、ブラティスラヴァに暮らす。
- 1952年 出版社に勤務。
- 1969年 故国を離れ、翌年からウィーンに居住。(～98年)
- 1972-74年 シュトウトガルト美術学院で教鞭をとる。
- 1989年 初来日。
- 1998年 ウィーンにて没。



7.